

第49回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール募集要領



第48回 図画部門 岩手県知事賞
「思い出の田植」
岩手町立一方井中学校 2年 田中 優莉奈さん

- 主 催 岩手県内各JA、JA岩手県中央会
- 後 援 岩手県、岩手県教育委員会
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会
一般社団法人家の光協会東日本普及文化局
株式会社日本農業新聞東北支所、JA岩手県信連
JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手

第48回 作文部門 岩手県知事賞

「僕の好きな手作り料理」

岩手大学教育学部附属中学校 2年 大崎 泰玖さん

僕は外食が好きではありません。

正確に言うと、僕は家で食べるごはんが大好きなのです。

外食もおいしいと思うけれど、お母さんやおばあちゃんを作る料理を食べるのが僕は好きです。

家のごはんは作っている過程を音やにおいで感じるのがまず楽しくて、何を作っているのかな、どんな味かなと見ていてワクワクします。

お母さんは料理本やインターネットで検索したレシピを分量ピッタリに計って作ります。そのため、基本的にいつもおいしいです。ただし、仕上りの味に不満があると、「このレシピの人の家庭と我が家は味の好みが変わった。」と言ってがっかりな顔をして食卓に作った料理を出してきます。

自分で最後、味見をして調整してみるということもしない、レシピ通りにしか作らない、それがお母さんです。舌の合う料理研究家のレシピの中から献立を決めるのがお母さんの安定のごはんです。

僕の大好きなおばあちゃんは、岩手県から四百五十キロメートルも離れた栃木県に住んでいます。春休み、夏休み、冬休み等の長期休みにしか会いに行くことが出来ないのですが、会いに行くとリクエストを聞いてくれて滞在中毎日料理を作ってくれます。

おばあちゃんはお母さんと違ってまったくレシピというものを見ません。調味料も目分量や感覚で入れていて、小さじなど使わずにその辺にあったスプーンを使ったり、計量カップも使わずに料理しています。また、その日に冷蔵庫にあるものを入れてみたり、味も定番ではなく変えてみたりとアレンジもします。感覚で料理するようにササッと作る料理は毎回とてもおいしくてびっくりします。どの料理もおいしくて、僕はごはんが楽しみでおばあちゃんに帰っています。

料理上手なおばあちゃんのリシピをお母さんは教わりたい

けれど、きちんとした分量のレシピがないのでお母さんが、「今の醤油、どのくらい入れた。」と聞くと、

「ぐるっとフライパン一周ぐらいいかな。」とおばあちゃんが答え、お母さんが、

「二周はどのくらいの円。量はどのくらい出しながらの一周。」

という聞いていてその会話に僕はクスッと笑います。

そんなおいしいごはんをみんなで食べる時間が僕は大好きです。それぞれの時間を過ごしていた家族がごはんの時間になるとみんなで集まり、「おいしいね」と笑顔を見せながら会話をすると、とても大切な時間だと僕は思っています。ごはんの時間はケンカもリセットされる力があるようで、どんなにケンカしていた弟と妹でも隣どうしで座って笑顔がみられます。普段無口なおじいちゃんも、ごはんのときは会話が弾みます。

栃木に帰った時の恒例でおばあちゃんの料理のベスト発表を一人ずつします。ベスト10を発表するという時間があります。ベスト1については、

「お腹を壊すまで食べてみたい。」と口をそろえて笑って話します。栃木に帰るたびにベスト10を理由と共に発表し、前からの順位の入替えがあるときに盛り上がりがあります。ちなみにみんなのランキング上位いつもいるのはハンバーグです。

僕が大きくなってきて、友達の姉が大学生になり一人暮らしを始めたという話が聞こえてくるようになりました。僕も進学先によっては岩手や栃木から離れることもあるかもしれません。今は当たり前前に食べることが出来ているおばあちゃんやお母さんのごはんの「一食一食に感謝をし、「おいしかったよ。ありがとう。」とたくさん言ってあげたいです。

目 次

岩手県コンクール募集要領	1
<参考>全国コンクール募集要領	3
コンクール審査基準（作文部門）	5
コンクール審査基準（図画部門）	6
個人作品貼付用応募票（切り取り）	7
応募者一覧表（切り取り）	9

第49回「ごはん・お米とわたし」作文・図画 岩手県コンクール募集要領

【趣旨】

このコンクールは、J Aグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的に実施いたします。

【課題】（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

【主催】

岩手県内 J A J A 岩手県中央会

【後援】

岩手県 岩手県教育委員会
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会 一般社団法人家の光協会東日本普及文化局
株式会社日本農業新聞東北支所 J A 岩手県信連
J A 岩手県厚生連 J A 全農いわて
J A 共済連岩手

【応募資格】

岩手県内の小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

岩手県内の特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】（枚数・大きさ）

●作文部門

1部：小学校1年生～3年生

（400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内）

2部：小学校4年生～6年生（400字詰め原稿用紙3枚以内）

3部：中学校1年生～3年生（400字詰め原稿用紙4枚以内）

（注）作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください）。

（注）本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

●図画部門

1部：小学校1年生～3年生

2部：小学校4年生～6年生

3部：中学校1年生～3年生

B3判（364×515ミリ）、もしくは四つ切り（380×540ミリ）の市販画用紙を使用。

画材は特に制限しません。（注）地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- (1) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3) 応募は、ひとり1部門1点です。
- (4) 図画作品でポスター形式（標語・キャップフレーズ文字の入ったもの）のものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表（9ページ）を必ず添付してください。記載例は（10ページ）です。校内で選定した際は、全応募総数を記入してください。
- (6) 作品には、1点ごとに必要事項を記入した応募票（7ページ）をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。（貼り付け見本参照）

- (7) 作品は、県コンクールの審査・表彰式終了後の令和7年2月下旬頃、JAを通じて返却します。ただし、JAでその後に作品を展示する場合がありますので、個人への返却が遅れる場合があることをご了解ください。
- (8) 作品の出版、放送に関する権利は、JA岩手県中央会に帰属します。入賞発表や表彰式、主催者の広報媒体（作品集、次年度の募集要領、ホームページ、テレビ、新聞等）への露出や作品展示などの広報活動、諸事業活動で使用いたします。上位入賞者につきましては顔写真を提供していただきます。ご了解の上、ご応募ください。
- (9) 応募に際して提供された個人情報、承諾なく第三者に提供しません。

【締切日】

※応募とりまとめJAを経由してご応募ください。
※県事務局の〆切は下記のとおりですが、とりまとめJAの〆切は文書をご確認ください。
※県事務局への応募は、令和6年9月2日（月）必着

【審査委員】

総合委員 小岩和彦氏（元岩手大学教職大学院特命教授）
 専門委員 佐々木俊江氏（元中学校指導教諭）
 専門委員 柴田良輔氏（盛岡市教育委員会学校教育課主任指導主事）
 他、岩手県農林水産部、一般社団法人家の光協会東日本普及文化局、
 株式会社日本農業新聞東北支所、JA岩手県中央会、JA岩手県信連、
 JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手

- 【審査会】** 第1次審査会…全国コンクールへ推薦する作品を選定
 第2次審査会…本県コンクールの各賞入賞作品を選定

【賞】（予定）

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| ・岩手県知事賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 | ・岩手県教育委員会教育長賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 |
| ・（一社）家の光協会東日本普及文化局長賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 | ・（株）日本農業新聞東北支所長賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 |
| ・JA岩手県五連会長賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 | ・優秀賞
作文・図画部門
賞状と副賞 | 若干名 |
| ・学校奨励賞
作文・図画部門各1校
賞状と副賞 | 計2校 | ・佳作
作文・図画部門
賞状と記念品 | 若干名 |

※応募者全員に参加賞を贈呈する（9ページの一覧表に氏名を記載した応募者のみ）

【入賞発表】

全国コンクール : 令和6年12月上旬
 岩手県コンクール : 令和6年12月中旬
 （応募取りまとめJAを経由して、入賞校、入賞者宛に通知します）

【作品展示】

上位入賞作品については、盛岡市内の商業施設等で展示を予定。
 期間：令和7年1月中旬～2月上旬に1～2週間程度。

●送り先および問い合わせ先

最寄りのJAを経由して
 〒020-0022 盛岡市大通り1-2-1 産業会館内 JA岩手県中央会JA支援部
 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール係まで
 TEL：019-626-8519 FAX：019-623-6117
 E-mail：kouhou@jaiwate.or.jp

＜参考＞第49回「ごはん・お米とわたし」作文・図画全国コンクール募集要領

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

1部 小学校1年生～3年生

(400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)

2部 小学校4年生～6年生

(400字詰め原稿用紙3枚以内)

3部 中学校1年生～3年生

(400字詰め原稿用紙4枚以内)

●図画部門

1部 小学校1年生～3年生

2部 小学校4年生～6年生

3部 中学校1年生～3年生

B3判(364×515ミ)、もしくは四つ切り(380×540ミ)の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。

(注)地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- (1) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。①作品の題名②氏名③学校名・学年・組④学校の所在地(郵便番号・電話番号)⑤JA名

- (2) 作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください(学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください)。

- (3) 作文は本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。

ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

- (4) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。

- (5) 応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテストに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。

- (6) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。

- (7) 合作は応募できません。

- (8) 図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。

- (9) 学校で応募の際は、別添の推薦名簿を必ず添付してください。

- (10) 作品は令和7年2月中旬に返却予定です。

- (11) 作品を応募することによって、応募作品をJAグループ(後援協賛団体を含む)の広報活動および諸事業活動のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合がございます。

- (12) 記入いただいた個人情報、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、JAグループ(後援協賛団体を含む)の広報媒体(入賞作品集やホームページ等)への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。

- (13) 作品を応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。

- (14) 入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みやオリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消します。

【締切日】

令和6年9月中旬(各都道府県によって異なります)

※全国審査応募は、10月24日午前中全国事務局作品係必着

【審査員】

審査会委員長 尾木 直樹 氏

(教育評論家、法政大学名誉教授、臨床教育研究所「虹」所長)

作文部門 中村 靖彦 氏

(東京農業大学客員教授)

設楽 敬一 氏

((公社)全国学校図書館協議会理事長)

竹村 和子 氏

((公社)全国学校図書館協議会常務理事・事務局長)

堀米 薫 氏
 (児童文学作家、(一社)日本児童文芸家協会理事)
 真鍋 和子 氏
 (児童文学作家、(一社)日本児童文学家協会評議員)
 位川 一郎氏
 (農政ジャーナリスト、元毎日新聞経済部編集委員)

図画部門 岡田 円治 氏
 (元株式会社NHKアート代表取締役社長、日本美術家連盟準会員)
 岡村 泰成 氏
 (美術家集団「Moss Spirits」代表、日本美術家連盟会員)
 小柳津 須看枝 氏
 (日本美術家連盟会員)
 西巻 茅子 氏
 (絵本作家)
 東良 雅人 氏
 (元文部科学省初等中等教育局視学官、京都市教育委員会総合教育センター副所長)
 郡司 明子 氏
 (群馬大学教授)

【賞】

- (1) 内閣総理大臣賞
 作文・図画部門各1名——— 計 2名
 賞状と副賞(記念盾及びお米券、記念メダル)
- (2) 文部科学大臣賞
 各部門各部門ごとに1名——— 計 6名
 賞状と副賞(お米券及び記念メダル)
- (3) 農林水産大臣賞
 各部門各部門ごとに1名——— 計 6名
 賞状と副賞(お米券及び記念メダル)
- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞
 各部門各部門ごとに1名——— 計 6名
 賞状と副賞(お米券及び記念メダル)
- (5) 優秀賞
 各部門各部門ごとに15名——— 計 90名
 賞状と副賞(記念メダル)
- (6) 学校奨励賞
 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
 各賞受賞者所属校——— 計 14校
 賞状

【入賞発表】

審査会終了後、入賞校、入賞者へ主催者より通知します。新聞などメディアへの発表は、令和6年12月上旬を予定しています。

【主催・後援・協賛】

- 主催
 農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会
 ／全国農業協同組合中央会
- 後援(予定)
 文部科学省／農林水産省／こども家庭庁／全国都道府県教育委員会連合会／全国市町村教育委員会連合会／日本放送協会(NHK)／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／(公社)全国学校図書館協議会／(公社)日本PTA全国協議会／(公社)米穀安定供給確保支援機構
- 協賛
 全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合連合会／農林中央金庫／(一社)家の光協会／(株)日本農業新聞／全国厚生農業協同組合連合会／(一社)全国農協観光協会

【送り先および問い合わせ先】
 最寄りの農業協同組合「作文・図画コンクール」係
 もしくは
 都道府県農業協同組合中央会「作文・図画コンクール」県事務局へ
 (各都道府県によって異なります)

本コンクールの審査基準は以下の通りです。応募の際にはご注意ください。

コンクール審査基準（作文部門）

“上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。

1. 課題に沿った作品であること。
2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること（子どもはよく難しい言葉を使ったがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない）。
3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を率直に述べていること。
4. 自分の生活経験がにじみ出ていること（抽象的、一般的なことのみに終始するものは好ましくない）。
5. 作品全体に希望や明るさを感じられること。
6. 規定の枚数であること。
7. 誤字、脱字がなく、その他の表記(かぎかっこや句読点など)も正確であること（誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じて、本人に差し戻し、清書させてください）。
8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出す（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出す）。

コンクール審査基準（図画部門）

<主題のとらえ方について>

1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアがあるものがよい。
2. 理解させるためディスカッションすること。
3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

<基準について>

（次のようなものは審査の対象外になります）

1. ごはん及びお米を主題としていないもの。
2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの（擬人化したもの）、および実在しないもの（空想やファンタジー性のあるもの）。
6. 石、木片などを貼りつけたもの。
7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。
8. 紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。
9. 台紙に貼って応募したもの。
10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、および宣伝になる恐れがあるもの。
11. パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。
ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。
また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。
12. 道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの

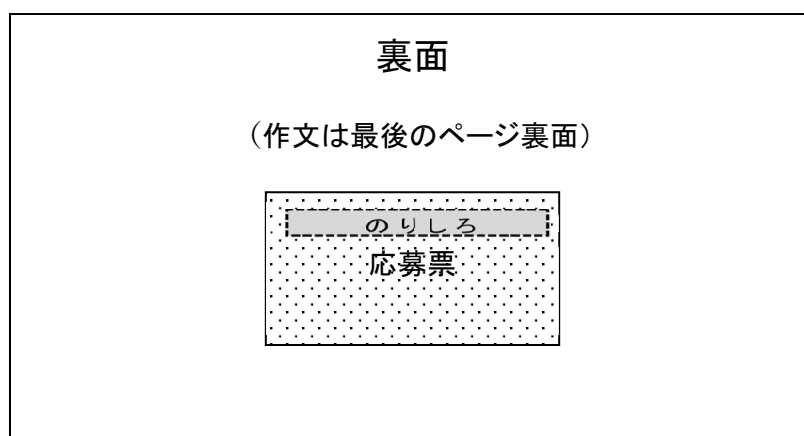
個人作品貼付用 応募票

作品番号	都道府県コード	作品番号	部門
			作文・図画
フリガナ			
作品の題名			
フリガナ			
氏名			
フリガナ			学年
学校名	学校	年	組
学校所在地			
電話番号			
JA名			

(注)

1. 必要事項を記入の上、作文は最後のページ中央、図画は作品裏面中央に下図”のりしろ”部分のみ貼付（のり付け）してください。
(太い枠で囲まれた部分は必ずご記入ください)
2. コピーして作品に貼付してください。
3. 都道府県コード、作品番号は記入不要です。(県段階で記入します)

【貼付見本】



応 募 者 一 覧 表

学 校 名 : _____ 小・中学校

電話番号 : _____ ご担当者名 : _____

扱いJA名 (JA)

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

※上記の児童・生徒を応募するにあたり、校内で選定した場合は、全応募総数を記入してください。

全応募総数 _____ 点

応募者一覧表（記載例）

学校名： ○○市立 ○○○○ 小・中学校

電話番号： _____ ご担当者名： _____

扱いJA名 { JA }

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1	図画 1部	2年	岩手太郎	イワテ タロウ
2	作文 2部	4年	盛岡花子	モリオカ ハナコ

このコンクールは、岩手県コンクールと全国コンクールの2段階制とします。

岩手県コンクールに応募いただいた作品の中から、優秀な作品を全国コンクールに推薦します。(岩手県コンクールを経由しない作品は全国コンクールに応募できません。)

